

コソデキ

ヘルスリーダー 20周年記念式典を開催

5/9



感謝状贈呈の様子

笠間市ヘルスリーダーの会が20周年を迎えたことを記念し、友部公民館で式典が行われ、歴代会長3人に市長から感謝状が贈られました。同会は、食育や健康づくりについて研修し、「食」とおとした地域の健康づくりを推進しているボランティア団体です。

20周年、おめでとうございます。

稲田小学校が読書活動の取り組みで文部科学大臣表彰を受賞

5/7



(左から) 山口市長、図書委員の皆さん、根本校長

稲田小学校が「令和8年度子供の読書活動優秀実践校」として文部科学大臣表彰を受賞しました。

同校では、図書館と連携した多彩な本との出会いづくりや、読書週間の実施など、学校全体で読書活動を推進しています。

受賞おめでとうございます。

スポット ライト

江戸時代から続く六堂詣り - 地域の皆さんの手で吞龍堂を改修 -

皆さんは、六堂詣りという風習を知っていますか。お釈迦様の誕生日である4月8日の「花まつり」にあわせて、新仏をもつ近親者たちが供養のために六堂を巡り、それぞれに祀られた6体の仏像（笠間六体仏）をお参りするならわしのことで、江戸時代中期以降に始まったといわれています。

現在の六堂は、吞龍堂（笠間）、岩谷寺（来栖）、楞嚴寺（片庭）、弥勒堂（石寺）、蓮台寺（福田）、徳蔵寺（城里町）のことを指しています。吞龍堂は、明治時代に花蔵院が廃寺になった際に、地域の人々がお堂を建て、「吞龍様」と呼ばれるようになりました。

長年手つかずで老朽化が進んでいた吞龍堂。地元の愛宕町や月崇寺の皆さんがこれ以上は放っておけないと立ち上がり、協力し合うことで本年5月に改修作業を完了。その荘厳な姿を取り戻しました。



生まれ変わった吞龍堂(笠間市笠間377-3)



(左から)小池さん、飯村さん、卜部さん

改修作業に尽力した飯村 茂さん、卜部 良昭さん、小池 忠宏さんは、「吞龍堂の改修は地域の悲願。多くの方々の思いと協力で成し遂げられ感無量です。かつての賑わいを取り戻せるよう若い人にも来てほしいですね。これで来年の花まつりはお釈迦様をきれいな状態で迎えられます」と優しい笑顔で語ってくれました。

毎年4月8日の「花まつり」では、各寺院で仏像などの御開帳が行われます。新たに生まれ変わった吞龍堂にぜひ足を運んでみてください。